

第5期米沢ヤングチャレンジ特命課

「20年後の米沢の理想像に向けて、今動き出せ！」

令和4年度メンバー

荒木 成美

嵐田 和也

岡本 啓伸

小坂 蓮太郎

齊 陽

富樫 たまき

藁科 真菜

はじめに

- ・与えられた特命を考えるうえで、20年後自分たちはどうありたいか？
理想像・夢を考えたところ...

→ 「幸せに過ごしたい」

→ 自分たちだけではなく「**家族全員が幸せでいたい**」

A photograph of a family of three in a grassy field. A man in a light blue shirt and khaki pants is on the left, holding the hand of a young child. A woman in a teal jumpsuit is on the right, lifting the child into the air. The child is wearing a white patterned shirt and light blue pants. The background shows a line of trees and a clear sky.

幸せあふれる

家族円満の町よねざわ

課題1 子育てしやすい環境づくり

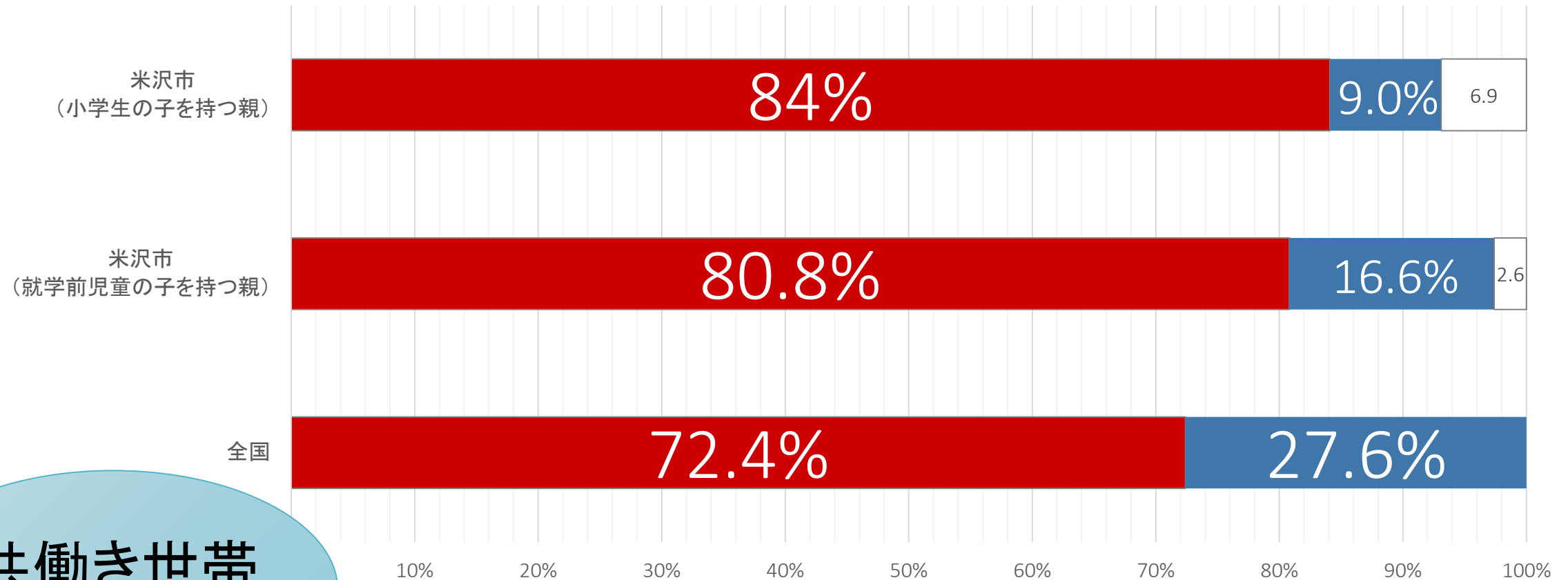
課題2 家族で過ごす時間の確保

課題1 子育てしやすい環境づくり

課題2 家族で過ごす時間の確保

母親の就業状況

■ 就労している ■ 就労していない □ その他



共働き世帯が多い！

米沢における子育ての現状

- ・市役所には子育ての悩みなどの相談には来ない
 - 同世代の子を持つ保護者や似た悩みを抱える人が周りにいれば相談しやすく、子育てに対する孤独感を軽減することができるのではないか。
- ・保護者が保育園を選ぶとき、家や職場からの距離を重視していることが多い
 - 家と保育園の距離が近いと嬉しいのではないか。

①子育てしやすい環境



資料：国勢調査（昭和30年～平成27年）・国立社会保障・人口問題研究所（平成30年3月推計）

→ 20年後の米沢はさらに子供の人口が減少

⇒ 子育て世代の交流も減少

米沢の子育て環境の課題

- ①同世代子を持つ親同士の相談できる場が必要
- ②子供が減ると地域コミュニティが薄くなり、さらに子育てしにくい環境になる
- ③共働き世帯が多く、保育園への送迎が負担となっている

→これらを解決する策が必要

⇒ 地域全体で子育てしていくために、
子育て世代が集まり、みんなで手を取り合って生活ができる場所が
必要ではないか？

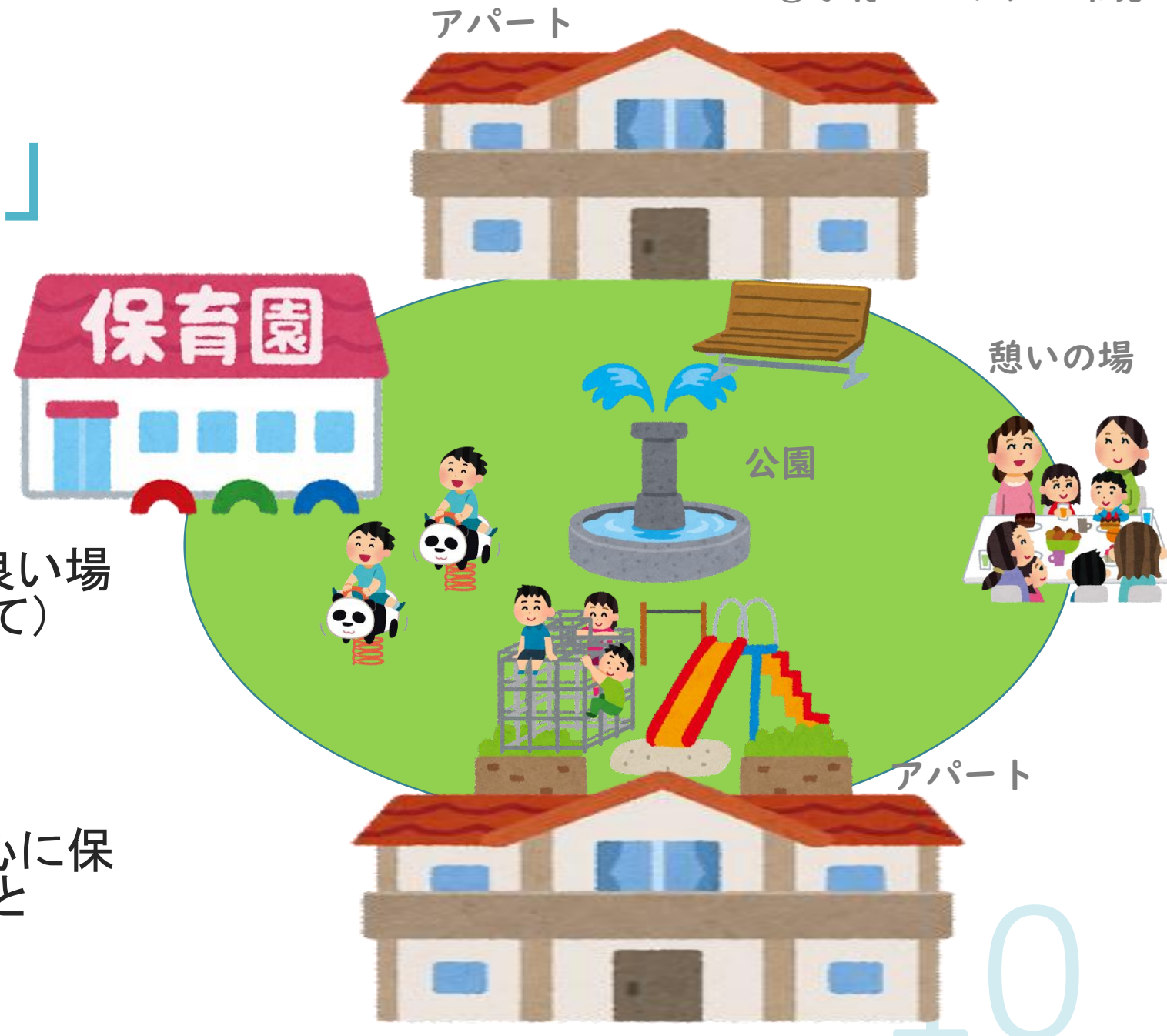
子育てタウン 「Obogo Town」

・おぼご＝山形弁で「子ども」

（子どもとその家族にとってより良い場所となるように という思いを込めて）

・Obogo Town とは...

子育て世代専用アパートを中心に保育園、公園等を併設した場所のこと



子育てタウン「Obogo Town」

- ・子育て中は 隣近所に迷惑をかけていないか心配
身近に頼れる人がいない
少子化により地域に子供がいない 等

→ 親にも子供にも悪い環境

事例 子育て共感賃貸住宅「母力」

(旭化成不動産レジデンス株式会社)



- ・子育てするお母さんが話し合いを重ね、出来上がった「子育て共感賃貸住宅」

- ・子供たちが遊んでいる中庭を見渡ししながら、交流できる「お母さんステーション」や縁側を取り入れている

⇒住人同士の交流が自然にしやすい環境



事例 「母力」入居者の声



育児休暇中も孤独感を感じないで過ごせました。
子どもがまだ小さく日中出かけることができない中、庭に少し出るだけで誰かに会うことができ、親子共にリフレッシュできる場所。そのおかげで育休中も孤独感を感じずに楽しく子育てすることができています。

同じ世代で、同じような生活スタイルの家族が多く、付き合いやすいと感じています。

庭を中心にみんなが集まることが魅力です。



①同世代子を持つ親同士の相談できる場が必要

②子供が減ると地域コミュニティが薄くなり、さらに子育てしにくい環境になる

⇒「ObogoTown」に保護者の憩いの場を設ける

→ コミュニケーションが自然にとれる仕組みをつくる

→ 地域内交流を通して

お互いの悩みを共有しながら、子育てができる場所

③共働き世帯が多く、保育園への送迎が負担となっている



①同世代子を持つ親同士の相談できる場が必要

②子供が減ると地域コミュニティが薄くなる

③共働き世帯が多く、保育園への送迎が負担となっている

⇒アパートに隣接した保育園を建てる

? ObogoTownの中に保育園建てる必要はあるのか。

送迎バスで他の園とObogoTownをつなげば十分なのではないか。

・送迎バスに取り残される事件があったり、送迎バスは時間が決まっており、自由度低いことから、ライフスタイルに合わない可能性がある

→結局保護者が迎えに行くことになるのではないか

・子供が熱出した時アパートの隣に保育園があると便利に利用できるため、

米沢の子育て環境の課題

- ①同世代子を持つ親同士の相談できる場が必要
- ②子供が減ると地域コミュニティが薄くなり、さらに子育てしにくい環境になる
- ③共働き世帯が多く、保育園への送迎が負担となっている

小学生の子を持つ保護者の声



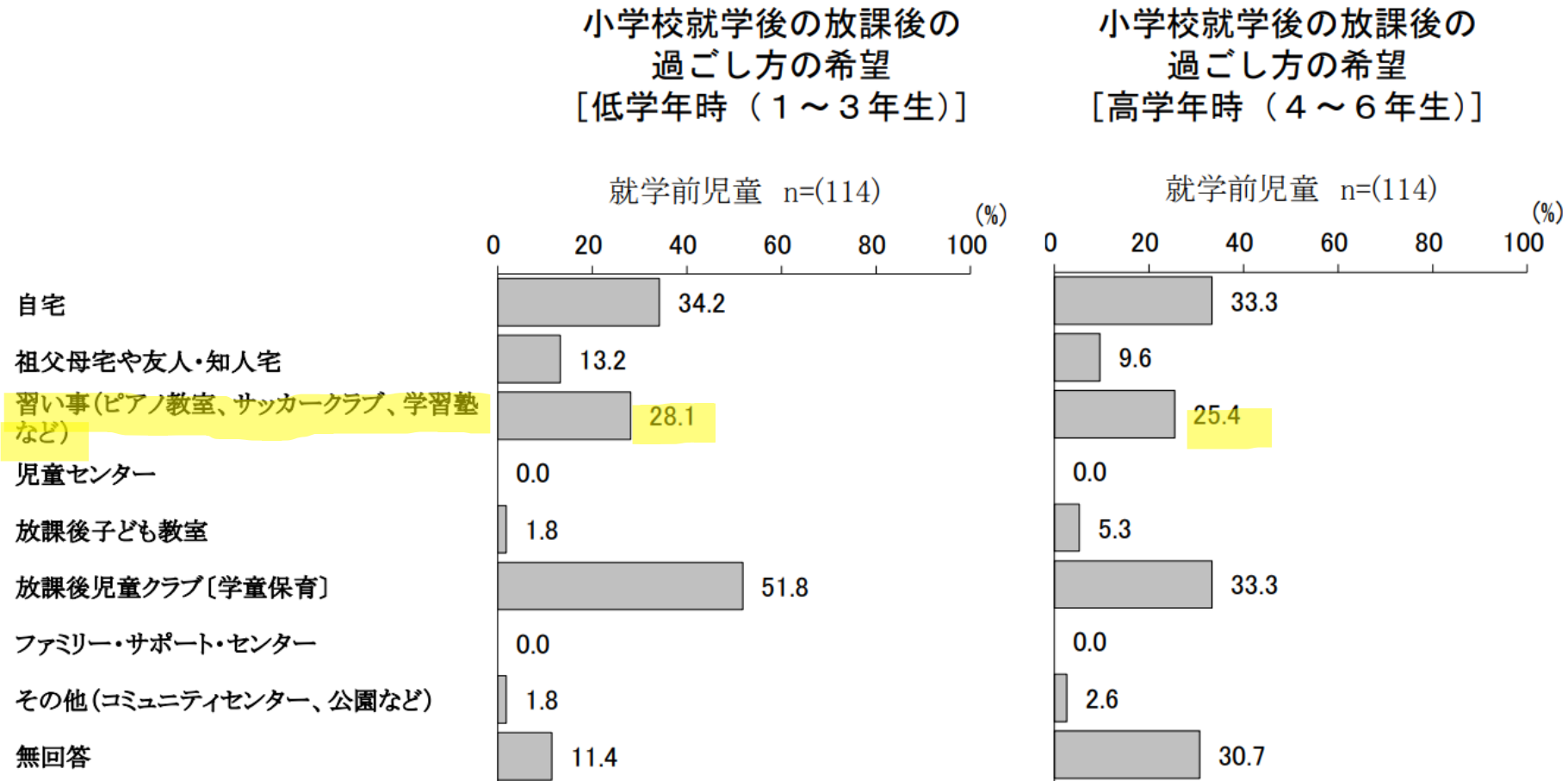
様々な習い事をさせたいけど、送迎が大変…。

共働きで、2人とも忙しい職場なので、どちらが送迎をするかでいつも揉めてしまう

→ 子どもの習い事は保護者の送迎が欠かせない

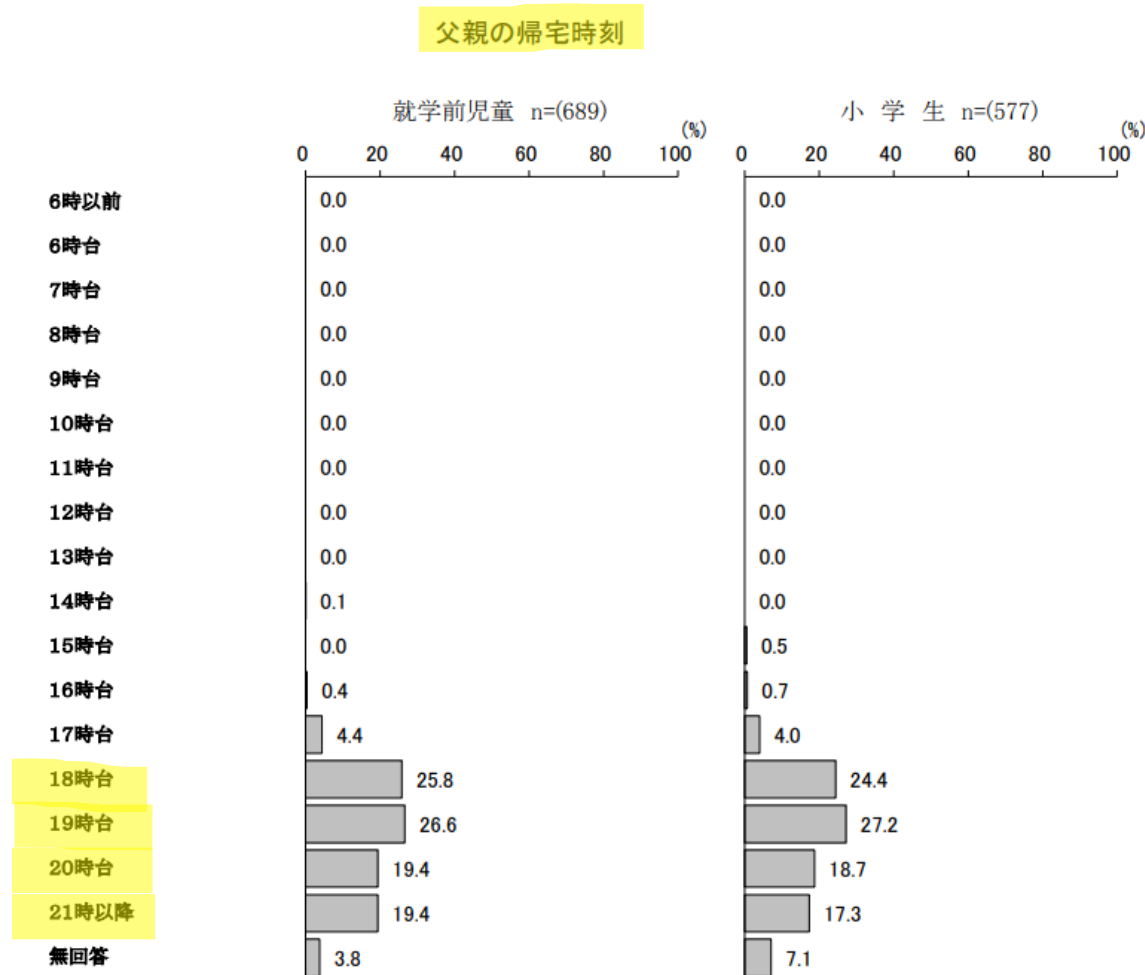
5歳以上の就学前児童の小学校入学後の放課後の過ごし方の希望について

(米沢市子育て支援に関するアンケート より)



・米沢の**母親の約80%が就業**している + **父親の帰宅時間:遅いと21時以降**

→ 共働き世帯が多く、習い事の送迎は大変な仕事の1つになっている



(米沢市子育て支援に関するアンケートp31 より)

①同世代子を持つ親同士の相談できる場が必要

②子供が減ると地域コミュニティが薄くなる

③共働き世帯が多く、保育園への送迎が負担となっている

④共働き世帯が多く、習い事への送迎が負担となっている

閉校後の学校を利用した習い事施設をつくる

- ・米沢は小中学校の統廃合が今後進む
- ・教室では塾、体育館ではスポーツ、音楽室ではピアノ教室等それぞれの部屋で目的に合った習い事を行うことができる
- ・「Obogo Town」と習い事施設をつなぐ送迎バスを運営
 - 保護者の負担軽減
- ・地域住民による教室（地域のお年寄りによる知恵伝授、栄養大生の料理教室など）
 - 地域で子供たちを育てる、見守ることができる

【問題点】

最初は住居者がたくさんいるが、子供が大きくなると住居者がいなくなる

例) 保育園児くらいの年齢の子を持つ親が入居者募集時に一気に入居

10年後、子が高校～大学生になるとそこに住む必要がなくなり、一気に退居

【改善策】

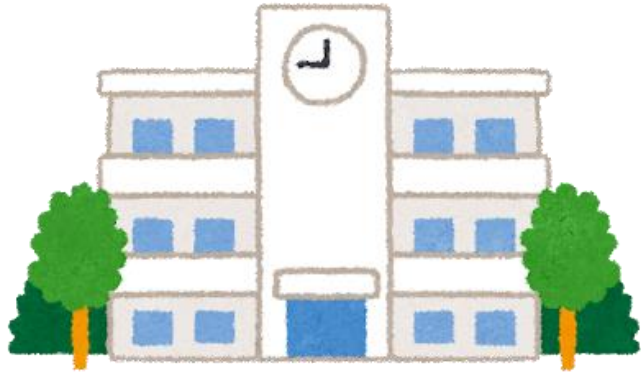
循環させるために年齢制限を設ける

→条件: 小学生以下(0～12歳)の子供を持つ家庭

→ 子育て世代が循環して居住でき、活気あふれる賑わいあるまちになる

習い事施設

①子育てしやすい環境



Obogo Town

アパート



公園



憩いの場



アパー



23

・私たちは20年後の米沢にObogo Townがあることが理想だと考えた

→しかし！これで完成ではない

→さらに住みやすい場所にするには

実際に保護者の声を聞き、以下に反映させるかが大切

子育て世代と一緒に米沢に子育てしやすい環境でつくっていきましょう！

課題1 子育てしやすい環境づくり

課題2 家族で過ごす時間の確保

家族デー「おらだの日」

- ・おらだ＝山形弁で「私たち」
 - ・市民全員が利用できる休暇として位置付ける
- 「obogoTown」は住んだ人だけに恩恵があるが、
「おらだの日」は子供がいる家庭だけではなく、子どもがいない家庭、独身の方等
様々な生活スタイルに合わせて活用できる休みであるとともに、
米沢市民全員活用できる内容となっている。

「おらだの日」概要

- ・地区ごとに取得できる仕組み

大人は平日に休めても小学生などは平日に私用で学校を休みにくい

→地区ごとに休みの日を決めれば

その地区の小中学校は休みになる仕組みをつくり

家族みんなが休める時間をつくる

- ・特定の休日を設けるが、

その日に休めない人もいるため、前後1週間で振替もできる仕組みをつくる

⇒家族で過ごす時間を確保する

・3カ月に1回
春夏秋冬1回
(年4回)ずつ
市民に与えられる
休暇とする

→米沢の季節ごとの
魅力を感じてほしい



春



夏



秋



冬

まとめ

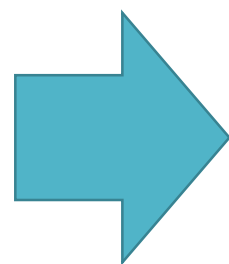
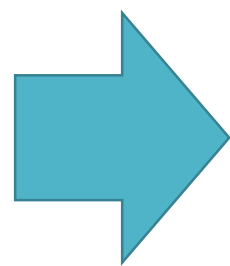
家族で過ごす時間が増える → 人間関係を学ぶ最初の場合



会話がふえ、子どもに寄り添う時間が増える



- ・会話がふえることにより、コミュニケーション能力が育つ
- ・子どもに寄り添い、褒めてあげることによって、自己肯定感が高まり、チャレンジ精神が養われる



家族円満



子どもたちが家庭を築いたときに、生まれ育った家庭のような家族像を目指す



心の広く余裕があり、優しい人が育ち、増える

A photograph of a family of three in a grassy field. A man in a white t-shirt and khaki pants is on the left, holding the hand of a young child. A woman in a teal jumpsuit is on the right, lifting the child into the air. The child is wearing a white polka-dot shirt and light blue pants. The background shows a green field and distant hills under a bright sky.

幸せあふれる

家族円満の町よねざわ

そのスタートを
米沢から始めましょう！

ご清聴ありがとうございました